

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Harmony山形		
○保護者評価実施期間	24年 12月 16日 ~ 25年 1月 10日		
○保護者評価有効回答数	(ご利用家庭数)	22	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	24年 12月 16日 ~ 25年 12月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	25年 1月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者様の安全を第一に考えた支援を工夫して取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> アレルギー調査を全家庭に行う 外食体験や調理体験の際は、その都度事前に保護者様へのメニューの確認を行う てんかん発作についての記録をとり保護者様と情報共有を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な面談の際や、申し送りの際などで自宅での発作の様子やアレルギーに対する取り組み、こちらで気を付けてほしいことの聞き取りを行う
2	保護者様や近隣住民の方との交流を図る取り組みを行っている	「夏祭り」を開催し、保護者様、近隣の住民の方を招待し、地域とご利用者様との交流の場を設けた	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の「あいさつ」をより徹底する 「夏祭り」以外にも地域との交流の場を増やす どんな活動をやっているのかチラシを配るなど広報活動を進める
3	ご利用者一人一人に合わせて工夫した支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> 「絵カード」の作成 言葉だけではなく目でみてわかる掲示物の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者様の「絵カード」についての意識が定着するような支援の統一 成長に合わせて「絵カード」の内容を変えていくこと
	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設内にご利用者様の利用について配慮すべき場所が多い	<ul style="list-style-type: none"> 階段があり、暗くて狭く急である 廊下やトイレの中が狭い 物置(浴室)となっている部分にご利用者様が簡単に行けてしまう場所がある 部屋数が多く、死角になる部分が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の移転を検討している 各フロアでのご利用者様や職員の移動の際声掛けをより意識して徹底する
2	保護者様への申し送りに差ができてしまう	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場や入口が狭いことからお迎え時間が重なると混雑してしまい短時間での申し送りになってしまうため マンツーマン対応や気持ちが落ち着かにご利用者様の対応で職員が対応できず当日一緒にいた職員が申し送りができないことがある 	<ul style="list-style-type: none"> お迎えがきたご利用者様と当日一緒に活動などを行った職員が申し送りできるようにする 申し送りの際の言葉選びや伝え方についてより配慮する
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		Harmony山形		公表日 2025年 2月20日				
ご利用家庭数 22家庭 7年1月10日 回収数14家庭								
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	5				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13			1	その日に誰がいるかわからない	玄関に職員の名簿を掲示し対応させていただきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	4		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	3		1	換気や手洗いが徹底されているか気になる	来所の際、手洗いの声掛けをしております また、おやつ時間など子どもたちが集まる際に換気を行っております
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12			2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	5		4		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13			1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	3	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	13			1		

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	2			職員によって違う 情報共有やケース会議など職員同士の話し合いの場をより充実させ、お子様にあった統一された支援の徹底に努めて参りたいと思います
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	8	1	2	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	2	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12			2	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1		2	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	2	1	1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1	1	2	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11		1	2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13	1			
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	2			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		Harmony山形			公表日		2025年 2月 21日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	グループ分けをし少人数を複数のスタッフで見れるような環境づくりをしている。	立地や二階建てなど改善の必要があるため移転を検討しております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	送迎の工夫や生活スペースの環境づくりを行い必要な人数の確保を行っている。	適正な配置をしているが、マンツーマン対応のお子様が増えてきているため、工夫をしながら安全に配慮した環境作りに努めて参ります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	4	声を掛け合い職員やお子様はどこにいるかの確認を行っている。	階段があること、トイレが狭く一つしかないなど改善点があり移転を検討しております		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	その日の活動によって空間の使い分けを工夫し特性や人数によって時間差を設けている。	事業所内で体を動かすには狭く感じる場合があるため、体育館や公園など伸び伸びと体を動かせる場所を効率よく使うなど工夫した活動の提供に努めて参ります。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	静的な活動、動的な活動で環境を分けている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			内部研修の充実と外部研修に参加する機会をより作っていきたいと思います。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		保護者様への聞き取りを行っている。	個々のお子様に対してのアセスメントは難しい部分もありますが夕礼などで情報共有を行いよりよい計画の作成に努めて参ります。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			支援の充実に向けて、各職員からより多くの意見を出してもらえる環境づくりに努めて参ります。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7					

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼や夕礼を通して共通理解できるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		交流は少ないのですがコバルなど公共施設での地域の他の子どもたちと関わる機会を持つよう努めて参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	「夏祭り」を開催し保護者様同士の交流の場を設けております。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		施錠できる書庫に保管しております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		写真や絵カードで伝えたり保護者様にはご帰宅後、改めてお電話でお伝えするなど配慮しております。	個々の特性に合わせより分かりやすく伝えられるよう配慮して参ります。 お子様が前向きになれるような言葉かけを心がけております。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		年に1～2度大きなイベントを企画しご招待するなどしております。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		災害を想定した訓練を年2回～3回実施し、消防署職員からも評価して頂き今後の非常災害に役立てられるようにしております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		服薬依頼書や、てんかん発作のお子様は記録簿のやり取りを行っております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		医師の指示書の提出と、外食の際は保護者様より直接食物アレルギーの確認をして頂いております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	場合により、事業所内で実際に発生した場面と同じように検証し、どのような対応が良かったか再発防止策等を検討しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	お子様の安全を確保することを第一に考え計画に記載し、保護者様には事前に説明をし承諾を得ている。	止めることでしか防げない場面もあり、難しさを感じることもありますが、夕礼などで情報や対策を共有しながら安心してご利用できるよう努めて参ります